



欄に数値またはコメントを記入

## 1. 建物概要

建物名称	(仮称)スルガ銀行沼津南支店 新築工事	BEE	1.5	BEEランク	A	★★★★
------	---------------------	-----	-----	--------	---	------

## 2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.9	/5	ふつう
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5	がんばろう
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.3	/5	ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.8	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
		がんばろう 3 点未満	

## 3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。	内訳対応項目									
	得点		3.9							
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>										
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①Low-Eガラスを用いるなど室内への熱の侵入に対して配慮をしている	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能				
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備				
			3.2	3.2.1	③	昼光制御				
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	軸体材料の耐用年数				
			2.2.2	2.2.3	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔				
			2.2.4	2.2.5	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔				
			2.2.5	2.2.6	④	空調換気ダクトの更新必要間隔				
			2.2.6	④	④	空調・給排水配管の更新必要間隔				
						主要設備機器の更新必要間隔				
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特に無し	Q-3	1	⑤	生物環境の保全と創出						
		3	3.2	⑥	敷地内温熱環境の向上					
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的の運用) ⑦BPIm=0.65 ⑨BEIm=0.65	LR-1	1	⑦	建物外皮の熱負荷抑制						
		2	⑧	自然エネルギー利用						
		3	⑨	設備システムの高効率化						
		4	4.1	⑩	モニタリング					
		4.2	⑩	運用管理体制						
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマや省水型便器を探用し節水を図っている ⑫リサイクル材を積極的に採用など、省資源に寄与している	LR-2	1	⑪	節水						
		1.1	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無					
		1.2	1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無					
	2	2.1	⑫	既存建築軸体等の継続使用						
		2.2	⑫	軸体材料におけるリサイクル材の使用						
		2.3	⑫	軸体材料以外におけるリサイクル材の使用						
		2.4	⑫	持続可能な森林から産出された木材						
		2.5	⑫	軸体材料の再利用可能性向上への取組み						
		2.6	⑫	有害物質を含まない材料の使用						
	3	3.1	⑬	消火剤						
		3.2	3.2.1	⑬	断熱材					
		3.2.2	⑬	⑬	冷媒					
		3.2.3	⑬							
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑯LCCO2排出率75%	LR-3	1	⑭	地球温暖化への配慮						
		2	2.2	⑮	温熱環境悪化の改善					
<b>"災害に強いしづおか"の形成(Disaster)</b>										
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特に無し	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性				
			2.1.2	⑯	免震・制振性能					
		2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備					
			2.4.2	⑰	給排水・衛生設備					
			2.4.3	⑰	電気設備					
			2.4.4	⑰	機械・配管支持方法					
			2.4.5	⑰	通信・情報設備					
<b>"しづおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>										
■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑲階高3.7m以上確保	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰⑲	ユニバーサルデザイン計画				
	3	3.1	3.1.1	⑲	⑲	階高のゆとり				
		3.1.2	⑲	⑲	⑲	空間の形状・自由さ				
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) 特に無し	Q-3	3	3.1	⑲	⑲	地域性への配慮、快適性の向上				
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>										
■室外環境(敷地内)対策 (⑮生物環境の保全と創出/⑯まちなみ・景観への配慮/⑰敷地内温熱環境の向上) 特に無し	Q-3	1	⑮	生物環境の保全と創出						
	2	⑯	⑯	⑯	⑯	まちなみ景観への配慮				
	3	3.2	⑯	⑯	⑯	敷地内温熱環境の向上				
■敷地外環境対策 (⑯持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特に無し	LR-2	2	2.5	⑯	⑯	持続可能な森林から産出された木材				
	LR-3	2	2.2	⑮	⑮	温熱環境悪化の改善				